モニタリングチェックシート (平成29年度)

|練馬文化センターおよび大泉学園ホール <mark>指定管理者名</mark> 公益財団法人練馬区文化振興協会

施設名

<評価>

優:特記すべき実績・成果が認められるもの

良: 管理運営が良好と認められるもの

評価者 文化·生涯学習課長	要改善	: 一部において改善を要する点が見受け
		られるもの
評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み ・事業計画書で提案された収支計画の目標を達成できているか ・事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱いおよび実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか ・施設の利用状況は良好か		・収入目標をやや下回ったものの、収支計画に基づき予算を効率的に執行し、設備の改善が行われた。 ・音楽や伝統文化、演劇等、幅広い分野の公演事業を行った。特に、センター独自の公演企画(2回)、他文化施設との連携企画(3回)を行い、大好評となった。・法人で定めた経理規程に沿って処理および管理が適正に行われている。・ホール稼働率は文化センターが83.5%、大泉学園ホールが91%と向上した。
2 施設管理運営体制 ・業務の再委託における範囲は適正か ・再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか ・物品を調達する際に、区内業者から調達するよう努めているか ・職員の配置は適正か ・職員について区内雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っいるか ・設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか ・ ・	良	・再委託の範囲は適正であり、高い専門性が必要なもの以外は全て区内業者に委託している。物品購入や修繕等は区内業者の活用に努めている。・職員が2を設定を発すっている。・計画的に保守点検を行い、備品管理も台帳により適切に管理されている。・非常時対応マニュアルを整備し、公演中の発災を想定した訓練を行っている(年2回)。また、初の試みとして、避難訓練コンサートを実施した。・環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた施設管理を行っている。・興行中止保険等の損害保険に適切に加入している。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み ・現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか ・苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅		・4月よりホールの抽選制度を改善し、区民優先を実現した。 ・チケット販売の電子化、文化センターにおける館内表示の改修・車いす利用案内図の作成等、サービス向上の取り組みを

- に対応しているか
- ・計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか

1変 |積極的に行った。

- ・苦情処理要綱を整備し、苦情発生時に は誠意をもって対応し、解決している。
- ・職員研修を計画的に行い、専門的な研 修の受講により職員育成を行っている。

・労働環境に関する法令を遵守して

法令遵守等

- 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に 関する法令等を遵守しているか
- ・労務環境調査の指導・助言事項について必要な対策を講じたか
- 練馬区情報セキュリティポリシーおよび個人情報保護条例に準拠 した規程を設け、必要な措置を講じているか
- ・情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じている か

良 等について、速やかに改善に取り組

- いる。 ・労務環境調査で指摘された契約社 員の年次有給休暇の付与日数不足
- んだ。 ・個人情報保護に関する規程等、区 の条例に準拠した規程を設け、必要 な措置を講じている。

- 利用者アンケート等の評価は良好か
- 利用者懇談会の評価は良好か

良

- ・利用者アンケートの満足度は、文化 センターで83.9%、大泉学園ホールで 91.5%と良好であり、昨年度より向上 した。
- ・懇談会では、管理運営について良 好な評価であった。

総合評価

・各項目について区の求める基準を満たし、2項目で特筆すべき実績・成果があった。施設稼働率、 利用者満足度を昨年度より向上させるとともに、利用者目線での施設運営、意欲的な公演企画、大 地震発生時を想定した避難訓練コンサートを行う等、積極的な取り組みが高く評価できる。

利用者評価等

優